

【刊夕】日八十二月一十

# 常磐毎日新聞

定部一錢 郵資五錢 一月十五錢 廣告費別計

發行所 常磐新聞社 印刷所 常磐印刷株式會社

電話 三六〇番 郵政掛號 第三〇三六番

## トコ・マネキ

### たしかな やくそく 志來眞樹

「ある・バーで」

「ねえ、シネマ見に行かない？ あたし——今週の『ノアの箱船』見たいの……」

「ウン、僕も見ようと思ってるがね」

「あら、ちや行きませうよ、ね、ね」

「ウン、行くにや行くがね……誰かに怒られやしないかな？……」

「お氣の毒さま、それはこちらから申上げることよ」

「と、とんでもない」

「ちや、い、ちやないの」

「ウン、よしッ行かう」

「ほんとう？ うれしいッ、ちやね、あした、おそ番だから、正午きつかりにマルトモ前で待つて、ね」

2 その夜・友達に會つて

「オ、あした平館へゆかないか？」

「エ？ あした？ か……」

「なんだ、都合悪いのかい」

「ウン、ち、ちよつと……」

「仕事かい？」

「ウン、そうぢやないんだけ……」

「ちや行かうよ」

「ウ……」

「何だ、氣のない返事するな」

「ウ……ちよつと客が来るんでね」

「だつて、あした土曜だぜ正午からあるぜ」

「ウン、それが、いつ来るかわからないんだ」

「テヘツ、むだな約束の仕様をしたものだ、一日ぼんやり待つてるわけか」

「ウ、イヤ、そういふ……」

「イ、ヨ、そう心配するなよ、フ、フ、」

「變な笑ひかたをするなよ叔父さんが来るんだよ」

「誰もシヤンが来るといやしないよ」

「そういぢめるなよ……」

3 マルトモ前で

彼は午前十一時二十分にマルトモビルの前に現れ、十分、二十分、三十分……とうとう一時間も待ちました。が、彼女は姿を現はしませんでした。女に對してはともオクビヨウである彼が、この女ならウンもつくまい……で

4 平館の前で

でも、いひ違ひに、さ、違ひといふものがあるものだ——といふ事を信じた程、彼としては、たしかな約束なので平館の前へ行つてみました。もしや彼女が深刻な顔をして待つて居るんぢやないかと。

「オ？ 来たのかい？」

「ウ、君か……」

「君かアつて、變だなア、へ、へ。——お客さま、来たのかい？」

「ウ、その、なんだ、叔父さん、早く来たもんだから用が片づいちゃつたんだよ、それで今日、君が行くといつたから、こどもによつたらぶつつかかるかも……といふやうな氣がして来たんだ」

「そうか、ちや丁度い、やはいらうよ」

5 一等席で

彼等が席へ着くと、向う側に彼女と、そして、彼の

知らぬきれいな男がゐるのです。彼はあわて、プログラムを落して、そしてかの女に見つがらないため、それをこぼんで拾ひました。

「オツ見ろよ、シヤンだなア、斷然ババだぜ、見ろよ」

「ウン、ウン、知つてるよ」

「こいつ、眼の早い奴だなもう見つけたのか、負けた」

「フ、だろうと思つたよ」

「なによいつてるんだい、プロをさかさに見てやがるあわてるな」

外科、内臓外科  
耳鼻咽喉科

### 山村醫院

双葉郡浪江町  
電話一四四番

### 縫糸

特等太糸一オンス拾壹錢  
同 中細同 拾參錢  
正紺縫糸大線一把五錢  
同上白糸同 三錢

外小町ガス糸打糸網糸一切  
不思議な程よく寫る

ベラスト  
カメラ

附屬一揃付特價一圓

麻雀……格安品  
一組上等品金十八圓より

森下商店  
平一丁目(商號豆屋)

### 吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八八番

當ル十一月 二日 三日間 絶對日延  
午後五時

### 聚樂館 開演

帝都各劇場ニ於テ大好評ヲ博セシ  
女流團朝日會之來演

民謡 小唄 名物 踊 萬歳 行進曲

東北巡業之歸途ニ付入場料破格ノ大勉強  
驚勿レ木戸一平等土間御一名金二十錢

後援 警城時報社 警城新聞社 常磐毎日新聞社

### アノ箱船

大史劇

世界の大作を掌握する……ワーストナショナル社提供  
ワーナフアラザース超特作 ……五百萬弗大映畫

獨逸グリーンペンウム映畫  
原作ルウドウイツヒウオールの長篇小説  
監督ジエンナロリゲルリ氏

篇巨……に正一致極の現表術藝るす有の畫映二值價的り物語の持の作名

を界世全は彈砲の軍獨・たしに方味敵を女男の愛は戦大州歐年四一九一  
に下の地るすとんらなに埋生時く行てれさ壊破が物萬・たしとんせ裂炸  
千五は語物・たい説てへ警に水洪大のアノのかを戦大州歐は師牧の人一  
……るぼのかさに昔年

### 大結晶

暖い南の太陽を浴びてゐる平和な國コスタエヴァに起きた心  
良い物語りであります……

廿八日 廿九日 三日間  
廿九日 三日間

晝夜 入 普通席三〇  
場 壹等席四〇  
二回 料 特等席五〇

獨逸ワーファ會社 冒險隊決死の撮影  
案内者——キルヘルムド、ペーア氏  
開拓者——ゲスター、ノードハウス氏

寫實獸猛

### ポロリ

ザンバを遙に凌駕せるを保証し、アフリカ三千哩に亘る未開の  
天地に見る恐る可き猛獸の争闘を決死撮影せる本映畫を公開す

卷 七

平館 六六四電

# 卅件に亘り

## 倒産相次ぐ

### 全国的にも

### 異例な数字

### 宣告既に八件に及ぶ

平區裁判所における最近の破産申請事件の件数は全国的に異例な数字を見せ十一月中旬までに三十件も受付これが裁決は本年度末までに行ふべく大馬力をかけてゐる尙既に宣告されたものは八件であると

## 日當は從來通りで

### 議事に馬力を

賛成々々で満場異議なく  
一ツ返事の勿來町會

經費節減の模範として今や町議の日當半減は始と全縣下に流行的に

實施され てゐる、この所謂趨勢に押されてか豫て多數の有志を集め大一定を行つた勿、町では半減のみでは興が薄いと會議は午後一時より開始、時間進行として從來の二圓を一圓とする譯だつたが考へて見ると今時どんな商賣を問はず一圓の

儲けは仇 やおろかではない、茲は一番合理的な理由を附して實に不可能にさせやうと誰が發表したか「長くかゝる議案も尠くな

## 警中軍教査閱

警城中學校生徒の軍事教練査閱は本年二十八日午前中は五年生午後には四年生以下行はれたが若松第二十九聯隊より伊井中佐來平執行した

## 知識階級の

### 失業者を採用

平町職業紹介所では年賀郵便取扱ひのために雇入れる臨時夫はなるべく町内の知識階級の失業者を採用されるやう平郵便局長に交渉中だつたが今度更に青森職業紹介事務局から仙臺通信局長に同様の依頼をなしたので少なくとも三四十人は採用される見込みがついた

## 自動車營業

### 許可を取消

平署管内左記二名の自動車營業者に對し營業能力なきものと認め營業許可を取消さる

## 礦業稅増額

### 廿七日決定

平稅務署では來月末日までに納稅する六年の試堀、採堀區稅の調定中だつたが廿七日漸く決定した、試堀稅は百件、六千六百六十八萬九千坪に對し一萬四千八百九十四圓、採堀稅は九十

八件、四千三百九十一萬五千坪に對し二萬六千三百四十九圓を賦課することになり前年の試堀九十八件、六千四百九十二萬五千坪、稅額一萬四千四百四十四圓五十六錢、採堀百件、四千三百五十六萬四千坪二萬六千六百三十八圓四十錢に比し双方共多少の増額を見た

## 年賀便取扱に

### 知識階級の

平町職業紹介所では年賀郵便取扱ひのために雇入れる臨時夫はなるべく町内の知識階級の失業者を採用されるやう平郵便局長に交渉中だつたが今度更に青森職業紹介事務局から仙臺通信局長に同様の依頼をなしたので少なくとも三四十人は採用される見込みがついた

## 浪江町の十日市

### 賑ひ絶頂に

(相馬通信) 往古より請戸に毎年九月二十九日に請戸市あり幾世橋には毎年十月六日に市があつて、金物、小間物、農具其他一切販賣し、地方人群集して屋臺見世物で賑つてゐた、之を浪江に移して繁盛をきたさんと、明治六年時の里正齋藤是利毎年舊三月十日、十月

## 一家總出で生活戦線に

芋串を振りかざして  
勇ましく躍進又奮進

町も農村も都會も炭礦村も不景氣に行きつまつて毎日の如く氣も消え入るやうな悲惨なことはかりかされてゐる生活苦、就職難、失業苦の嵐の中に喘

## 浪江料理屋

(相馬支局通信)  
振り出しとして若い女の三人ある水戸屋料理店に行は主人はニコ、

## 蓄ひた小遣錢の内から訓練所旗調製費に寄附

平町大工町大工徒弟坂、武(一)君は平青年訓練所の生徒であるが今度訓練所旗を調製するに當り金が足りないと聞き込み日頃蓄いて置いた金五圓を同訓練所に寄附した爲今回の査閲に際し査閲官伊藤少佐に激賞さる

## 文藝募集

全く經濟に詰まつた農家は飼育中の馬を賣拂つてゐるがそれも一頭が十五、六圓に一時の急場をしのぐに過ぎないので近く救済方を當局に懇請することになつた

## 約半額未納

### 木炭組合費

濱三郡木炭同業組合では本年四月末日までの納付すべき組合員二千四百名に對す

## 馬を賣拂ふ

### 悩む山間村

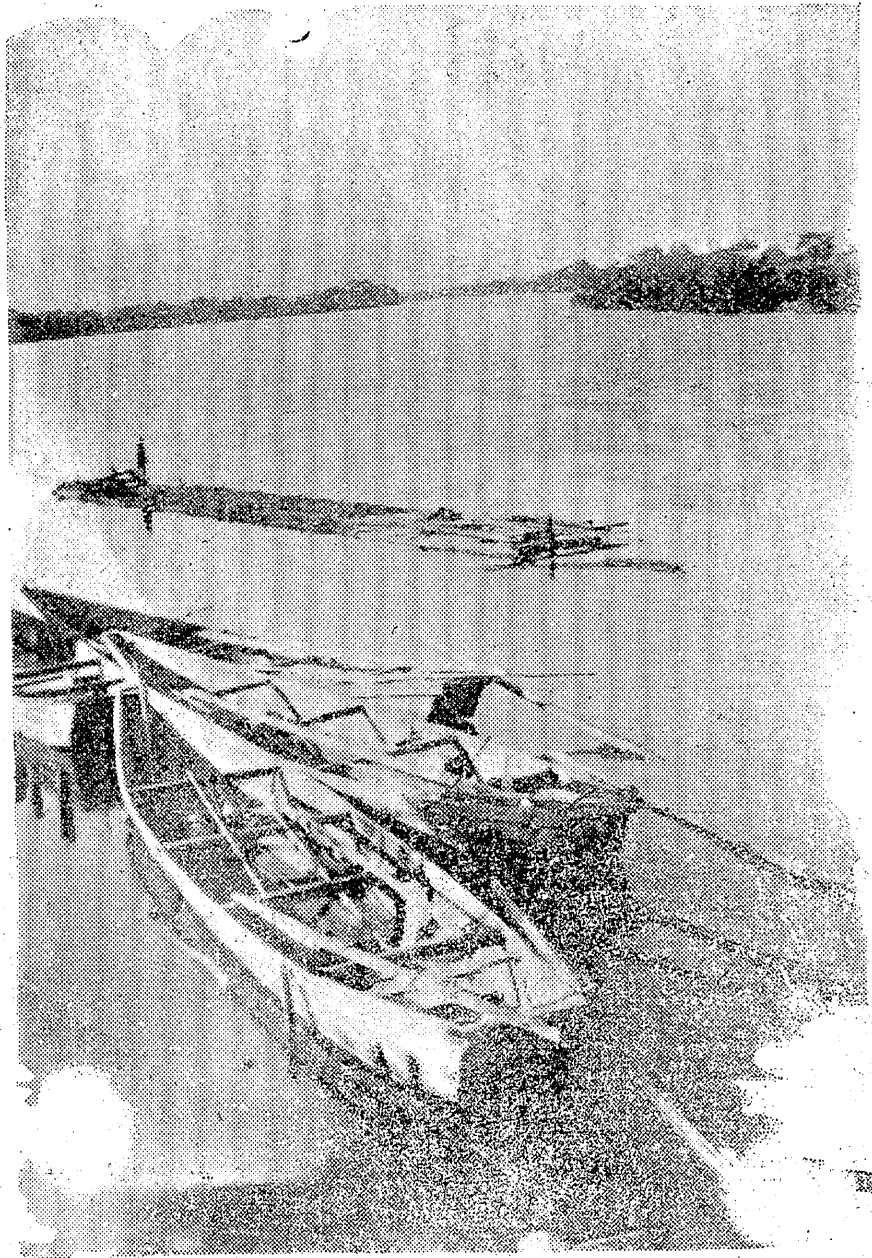
石城郡山間部の農村は米はほとんど自家用になるため米價は大した影響ないが同地方の特産物で一ヶ年間の

目に如何に生活戦線に活躍してゐるかがうかがはれるこの商賣は面白くて止められぬ不景氣だからとてよくめそめそしたりするよりは餘程よい、一日大人小供を相手に場所と時間と露店の秘訣さへわかれば一圓から二圓程になり完全に食へて行くことが出来る

ておく女給は座敷に出るが女將は出ないよ。  
うどんそばと洋料理専門大家はなんといつても驛前の大室 本店だ「チン」電話五二番さんはお家ですか」  
「チン」電話四〇〇の藝妓置屋の紺野屋さん賣ッ好大至急願ひます。チヨッ焼けるな。  
「おしろい女二人、二階を見れば和洋料理仕出しの松の家(電話二八)の看板(つゞく)

謹啓 曾祖父馬目太平儀永々病氣中の處療養不相叶本月二十七日午後四時死去致候に付此段御通知申上候  
追而葬送の儀は來る十二月一日自宅出棺  
當村清光院に於て佛式相替み申候  
昭和五年十一月二十八日  
石城郡内郷村

- 代總戚親
- 馬目 太郎
  - 馬目 吉治
  - 馬目 豊平
  - 馬目 次郎
  - 馬目 福徳
  - 馬目 正徳
  - 馬目 三郎
  - 馬目 金三
  - 馬目 柳三
  - 馬目 藤三
  - 馬目 木三
  - 馬目 亮三
  - 馬目 一郎
  - 馬目 三郎
  - 馬目 亮三



冷きた日射し

### 温い情け

## 足袋二十双

### 匿名の篤志者 小學校へ寄附

此程平第一小學校に匿名で小供足袋廿足を貧困兒童に分與して戴き度いと寄贈し來つた篤志者あり學校當局では非常に厚意を感謝して居ると

## 高田主計兵

### 鎌田町の出身

昨報昨年未以來數回に亘つて金二圓宛を平署の人事相談所へ困る人に與へてくれ

## 紅紫とりどりに

### 軒旗の音慌しく

#### 平町目貫の大通りに

#### そろく歳末期迫る

水まき自動車が卅分置きにお役目大事とお尻から水をはきながら疾走してゐる昨日今日、平目貫の大通りは

はやくも歳末気分がたよひ初めた、大賣出し大廉賣の赤地に白ぬきの旗幟が軒なみにたてられびゆく吹

つたが夫れは平町字鎌田町二四清一郎氏の長男軍艦八雲乗込海軍二等主計兵高田清二(三)君と判明四年一月横須賀海兵團に入團性來徳行家で俸給の内より送金してゐるものであると

四倉夜學開始 四倉町實踐實業學校では十二月一日夜學開始

## 一名即死し一名重傷

### 昨日綴坑の落盤で

石城郡内郷村綴坑夫新潟縣生れ先山夫征原常太郎(五)同人長男進(三)後山夫鈴木(三)の三名は二十七日正午ごろ坑内で採炭作業中落盤の下敷となり常太郎は即死進並びにしなは頭部腰部に瀕死の重傷を負つた

## 金一封

### 感謝状

田中シゲ(三)さんは去月中旬より平窪村殿内鈴木三郎

## 短歌會

### 詩南社の

平町詩南社主催秋季短歌會は來る十二月七日午後一時

## 馬目翁逝去

### 八十一才の高齡

石城郡内郷村内町酒造業、磐城實業銀行頭取馬目太平翁は八十一才の高齡を以つて廿七日午後四時遂に逝去した、翁は人も知る如く郡内屈指の實業家とし社會に

## 開店披露

永らく皆様の御最負を頂きました叶家を廢めまして私此の度左記の料理店を開きました何卒倍舊の御引立を願ひます

平田町(元千鳥跡) 君乃家

十一月二十七日 電話三八二番

美佐男御召と 優秀銘仙陳列特賣 三井吳服店

### 明日の天気

二十九日

今晩も明日も北西の風天氣よし一時雲が濃くなるので

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 九、〇〇 料理献立 (1)鯛のそば蒸し (2)清汁のつくり方 高橋せい子
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「家庭に於ける應用藝術」終 須藤邦郎
- 正午 時報
- 〇、〇五 掛合嘶一、赤穂

- 事件二、小唄の吹き寄せ
- 三、不如婦 東喜代駒
- 東駒千代 他 離子連中
- 後三、四〇 ニュース
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 ニュース
- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話劇「ソフイヤ姫」
- J O A K 唱歌隊
- 後六、三〇 英語講座「中

- 等科「第五講の六山田巖
- 後七、〇〇 ニュース
- 後七、二五 講演「言語藝術と感覺藝術」文學博士成瀬清
- 後八、〇〇 室内樂「ヴァイオリン、ピアノ二重奏」
- グアイオリン安藤幸子
- ピアノ、レオンシロタ
- 後八、三五 ラヂオドラマ
- 「海神別荘」喜多村緑郎
- 伊井峯峰其他
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

より同町マルトモビル樓上にて開催、故若山牧水門下の天野多津雄氏其他出席の筈であるが課題は「木枯」と「密柑」にて各二首宛五日迄に田町高久晚霞氏宛送附されたしと

貢献せる力甚大である爲め一般から惜まれて居るが十一月一日午後二時自宅出棺同村清光院に於て佛式を以つて葬儀を執行すると





東京橋場鮎刺 (米田安藏)

お妻は十六七で、見たところ何にも、ひくしく、色は白く、生え際の好い、黒髪がなややかなり立ち、男を引つけずには置かねと思はる、程の量、持主なのだ、夫れに言はれぬし、品とてある。

「お前は國に居る時はおみきと云つて居たことぶらわらないか、江戸へ来て、何で名を改めたのか、おみきに違ひあるまい」と

「久能木式石油コンロ」  
燃料經濟日本一  
今が需要最好期  
部分品附屬品修理修繕  
御一報次第貨物持參  
平町 吉田薬舗  
城山

酒場開設  
此の勉強振りを御覽下さい  
銘酒 一合  
焼酎 一合  
ブドウ酒 一杯  
ウエスキ 一杯  
サイダー 一本  
湯豆腐 一皿三錢  
肉煮込 一皿五錢  
三丁目横町 (平警察署通り)

米穀類、油、菓子  
其他雜貨卸商  
佐藤商店  
警城國浪江町  
電話六十四番

外務社員招聘  
年齢廿五歳以上経験の有無に不拘ず奮闘家を望む  
希望者は履歷書持參來所を乞ふ  
平町 大町  
仁壽生命保險會社  
平 監督所

そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります  
そばからの三錢そばはこ八錢そばは六錢  
平町土橋 福麥 マルマン商店 電話四八九番

て總は命用御の物刷印  
番〇三六話電 會社株式刷印日每警常



寫る! 寫る!  
高價なカメラと  
變りなく素的によく寫る  
タツタ一圓の  
富士カメラ!

懸賞寫眞募集  
一、富士カメラ使用の寫眞に限る事  
二、寫眞は風景及び人物の事  
三、寫眞は必ず台紙に貼付け裏面へ住所氏名明記の事  
賞品  
一等 新形最上富士カメラ 二名  
二等 富士カメラ用上等三脚 六名  
三等 富士印畫紙(二打入一袋) 十名  
後援 常磐毎日新聞社